

石川県立能登少年自然の家 中期経営目標

(実施期間 令和4年度～令和8年度)

令和4年3月 策定

1 施設の設置目的

本県の青少年教育施設の中核として、青少年の健全な育成を図ることを目的として設置されており、青少年のための各種の研修や団体の活動拠点となっています。

2 施設の果たすべき役割

少年自然の家は、青少年の教育施設として、思いやりや協調性などの社会性を育むとともに、自然に対する理解や畏敬の念を深め、豊かな感性やたくましく生きる力を育むため、集団宿泊活動や自然体験活動の機会を提供することを、その役割としています。

また、生涯学習振興の観点から、家庭、学校、地域などの広範な教育・学習の場としての役割も担っています。

3 事業内容

(1) 研修会、講習会等の実施

県主催事業の「いしかわ子ども自然学校」や指定管理者の独自事業等を通して、奥能登の自然や風土を取り入れた多様な活動プログラムを実施しています。

(2) 施設設備の提供及び指導と助言

学校や少年団体等に対し、宿泊研修や自然体験活動の提供を行うとともに、安心・安全に利用できるよう受入れ事業の環境整備に努めています。

4 現状と課題

(1) 管理運営体制について

- ・当施設では、民間のノウハウを活用して、施設を効果的・効率的に管理・運営するため、指定管理者制度を平成20年度から導入しています。
- ・施設の利用促進、施設・設備及び備品の維持管理及び修繕などの業務を指定管理者が行っており、当中期経営目標の実施期間である令和4年度から8年度までは、「一般財団法人 石川県県民ふれあい公社」を指定管理者として指定しています。
- ・教育施設としての機能を円滑に発揮するために、石川県教育委員会職員を駐在させ、専門的技術的事項について意見を述べるとともに、指定管理者の求めに応じて事業への協力を行っています。また、指定管理者は、施設長に退職校長等教員経験者を充てています。

- ・利用者の安全確保のため、定期的に安全衛生会議を開催するとともに、職員の資質向上を図るため、職員接遇研修を実施しています。
- ・県では、青少年教育施設運営会議を開催し、定期的に事業内容を確認するなど、指定管理者とともに、適正な管理・運営に努めています。

(2) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上について

- ・少子化による児童生徒数の減少や施設の老朽化等により、利用促進を図る環境が厳しい中、平成29年度から令和元年度の平均利用者数は、21,668人でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の利用者数は2,346人と激減しています。今後は、感染予防対策を徹底しつつ、利用者数の回復を図るとともに、一層の利活用促進に向けて、利用者の多様なニーズに対応した魅力ある活動プログラムの開発、実施など、取り組みを強化していく必要があります。
- ・学校利用の促進に向けて、学校との連携を深め、教育的効果の期待できる活動プログラムの開発に努めていく必要があります。
- ・指定管理者の独自事業として、幼児・小学生や家族向けの自然体験事業を開催しています。今後も指定管理者が管理する他の施設や、近隣の教育施設及び社会教育団体等と連携した魅力あるプログラムの開発に努めていく必要があります。
- ・利用団体の拡大のために、特に奥能登地区(輪島市、珠洲市、穴水町、能登町)の学校や公民館等を訪問して施設PRに努めています。また、ホームページの内容を充実することで、施設の魅力を県民に広くPRしています。今後は、奥能登地区以外の学校をはじめ、地区の子供会やスポーツ少年団、ボーイスカウト等各種団体に対しても施設のPRに努めるとともに、SNS等も利用したより効果的な情報発信を工夫していく必要があります。
- ・生涯学習の場として、より幅広い世代の利用につながるプログラムの開発を進める必要があります。
- ・団体の受付や事業の申請等、事務効率化のためのIT活用を進めていく必要があります。

(3) 施設運営の効率化について

- ・多くの施設を運営している指定管理者のスケールメリットを活かし、物品の共同購入や消防設備等の管理・点検業務を指定管理者が所管する「能登勤労者プラザ」と一括して業者委託をすることで、経費の削減に努めています。

5 中期経営目標

(1) 中期経営目標（指定管理者が実現すべき目標）

- ①利用者数を5年間で4%増加させます。
- ②利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

(2) 測定指標と目標値

測定指標		実績値 (H29～R1 平均)	中間目標値 (R6)	最終目標値 (R8)
①利用者数		21,668人	22,190人	22,550人
②利用者アンケートによる満足度	利用者サービス	100.0%	95%以上	95%以上
	施設の維持・管理	98.5%	95%以上	95%以上

6 指定管理者が設定した目標達成に向けた具体的な取組内容

(1) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取り組み

① 施設利用促進に向けた取り組み

- ・雨天時（または荒天時）のクラフト活動や学習プログラムをはじめ、閑散期も含め、利用者の多様なニーズに対応した魅力ある新規プログラムの開発に努めます。
- ・満天星や運動公園などの近隣施設や、指定管理者が所管するのと海洋ふれあいセンターなどとの連携を深め、それぞれの施設の特長をいかした魅力ある活動プログラムを提供します。
- ・SDGsについて、自然体験・講座を通して学ぶプログラムを提供します。
- ・社会教育団体やスポーツ少年団、子供会の事務局、公民館、保育所などを訪問し施設利用を働きかけます。また、能登地区を中心に小・中・高等学校を訪問して、学校行事、授業、部活動及びPTAでの施設利用を働きかけます。
- ・金沢市を中心としたスポーツクラブやスポーツ少年団、ボーイスカウトなどの団体にダイレクトメール等を活用して施設利用を働きかけます。
- ・新聞や地域情報誌などへのイベント情報の掲載、魅力あるホームページの作成・随時更新、SNSでの情報発信など、広報活動の充実を図ります。
- ・休館日の変更など、利用者のニーズに柔軟に対応します。

② サービス(満足度)向上に向けた取り組み

- ・利用者が快適に過ごせるよう施設内外の清掃の徹底、利用者への笑顔と気持ちのよい応対、館内掲示の工夫に努めます。

- ・利用者の安全・安心の観点から、活動に使用する用具や施設設備の定期的な点検、速やかな修繕に努めます。
- ・利用者のニーズや満足度を把握するため、全ての利用団体にアンケート調査を行い、その分析結果を速やかに施設管理の改善や利活用促進につなげます。
- ・定期的に接遇などの職員研修を実施し、職員の資質向上に努めます。

(2) 施設運営の効率化に向けた取り組み

- ・指定管理者が所管する施設（能登勤労者プラザ）と一括して委託契約を行うことにより、設備保守費用や燃料費などの経費削減を図ります。
- ・施設内の節電など職員の省エネ意識を高め、光熱費の削減を図ります。
- ・指定管理者の人的資源を有効に活用し、繁忙期や緊急時においても効率的な運営に努めます。

参考資料(施設の利用状況など)

(1)利用指標(利用人数、稼働率などの状況)

項目	H29	H30	R1	R2
利用人数(延利用者)	22,883人	21,309人	20,813人	2,346人
宿泊部屋稼働率	53.0%	48.3%	47.3%	11.8%
活動部屋稼働率	27.3%	22.9%	19.5%	10.4%

(2)利用者アンケート指標

(ア)利用者サービス

(単位:%)

項目	H29	H30	R1	R2
良い	81.5	77.2	80.0	75.0
概ね良い	18.5	22.8	20.0	25.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0
やや悪い	0.0	0.0	0.0	0.0
悪い	0.0	0.0	0.0	0.0

(イ)施設の維持管理

(単位:%)

項目	H29	H30	R1	R2
良い	57.6	50.7	60.0	62.5
概ね良い	42.4	44.8	40.0	37.5
計	100.0	95.5	100.0	100.0
やや悪い	0.0	4.5	0.0	0.0
悪い	0.0	0.0	0.0	0.0

(3)使用許可等の状況

項目	H29	H30	R1	R2
主催事業	23 団体	18 団体	17 団体	20 団体
幼児団体	1 団体	1 団体	2 団体	0 団体
小学校団体	90 団体	85 団体	87 団体	23 団体
中学校団体	12 団体	9 団体	6 団体	3 団体
高校団体	6 団体	6 団体	2 団体	2 団体
大学団体	1 団体	0 団体	0 団体	0 団体
少年団体	25 団体	28 団体	17 団体	2 団体

大人団体	15 団体	17 団体	14 団体	3 団体
計	173 団体	164 団体	145 団体	53 団体

(4)使用料の収入実績

項目	H29	H30	R1	R2
食事料	20,126 千円	18,960 千円	19,127 千円	1,241 千円
宿泊料 (寝具料)	1,558 千円	1,462 千円	1,428 千円	142 千円
その他 (暖房・カヌー)	423 千円	385 千円	368 千円	81 千円
計	22,107 千円	20,807 千円	20,923 千円	1,464 千円